

## ブラジル Colégio Novo mundo 番場新さん

留学期間 R 6.7～R 7.6 (1 年間)

### 1 留学の成果

私の留学で得た学びは、知識的なものと、人間的に得たものの2つがあります。知識的なものから話していきたいと思います。まず最初に、約一年間の滞在によって、基礎的なポルトガル語の会話文法を習得しました。交換留学8ヶ月目以降からは一日に使用する翻訳機の数が大きく減り、ブラジル人と滞りなく日常会話ができるようになりました。発音も文法も日本人にとっては簡単な方だと思いますが、英語とは別の第三言語を習得できたのは大きな成長だったと感じています。また、ブラジルに暑いというイメージを持たれている方が居ると思いますが、ブラジルには広い国土があるため、寒い地域・暑い地域で気候にも差があります。私が訪れたとある山では夜の気温が一桁台まで下がりきり、毛布なしでは寝られないような寒さでした。もちろん、夏は暑かったですが日本のような湿気は少なく、気持ちの良い暑さであった日が多く、なんなら日本より涼しく感じたくらいでした。ただ、例外を挙げるとするならば私が秋に訪れたアマゾン川です。そこでは湿度がとても高く、気温以上に暑さを感じました。特に、夜中にゲリラ豪雨が降ったその次の日の森の研修で、湿った木道を通る時は足を滑らせないように気をつけて歩きました。他にも、ブラジルは日本よりも貧富の差が激しい国だということも知りました。私のPraia Grandeという街の北東にSão Vicenteという街があるのですが、高架下にありえない量のゴミと人と焚き火が共存しています。どう見てもホームレスたちなのですが、私は日本で彼らのような人たちを今まで見たことがなかったので、ホストファミリーに「彼らは何故家を持っていないの」と聞いてしまいました。ホストファミリーはそっけなく「お金がない上に働かないからじゃないの」と言っていたのを覚えています。その時私はこれがブラジルでは当然の日常で、通常の格差なのだと認識しました。

次に、人間的に得た学びについて話します。前提としてブラジルでは日本にない種類の料理が多く出てきて、それらは語りきれないほど美味しいということを記しておきます。私はホストファミリーを4つ持っていて、そのどの家族からとっても可愛がられました。その主な理由が「笑顔でごはんをおいしそうに食べるから」でした。私自身、自分の素直な感情を表現しているだけなので、本来なんの努力もしていないのですが、いわばたかがそれだけのことで他人の子どもを我が子のように愛せるのです。私のホストファミリーが素晴らしく器の広い人物であることに間違いはありませんが、それでも、ポジティブな感情を思いっきり表現して、感謝を伝える。その行為の凄さ、大切さを知ることができました。

### 2 履修状況、課外活動等

#### (1) 履修科目

- ・ポルトガル語文法
- ・ポルトガル語文学
- ・英語

- ・ 地理
- ・ 歴史
- ・ 社会学
- ・ 哲学
- ・ 論述
- ・ 数学
- ・ 生物
- ・ 化学
- ・ 物理
- ・ 美術

## (2) 課外活動および受賞歴等

- ・ 国際ロータリー4420地区とそのクラブに関する奉仕活動  
(駐屯地レストランでのホール業務など)
- ・ LIVERUN!santos というマラソン大会で14歳から19歳の部で1位
- ・ ロータリークラブでの日本文化を広める活動

## 3 今後の活動予定

大学でも留学することを希望しています。

大学でもし第三言語を取得するなら、ポルトガル語とは違った言語を習得したいです。日本語、英語、ポルトガル語、大学で習得する言語の4か国語が話せるようになったら、将来役に立ちそうだと思ったからです。

交換留学の良さを周りの学生に伝えたいです。自分の体験談を織り交ぜながら推進できればいいなと思っています。また、ブラジルでは水周り設備の需要が高い割にはその質がまだ日本に比べてあまり良くないので、ビジネスチャンスがあると考えています。しかし、ただのアイデアに過ぎないので、具体的な計画などはまだありません。

## 4 ふるさと納税寄付者へのメッセージ

多大なるご支援感謝いたします。

おかげさまで貴重な体験をさせていただきました。

この経験を活かし、ふるさと福井を今よりももっと盛り上げられるような学徒の1人になれるように今後も邁進していく考えです。まだまだ未熟者の私ですが、いつか大人になって、過去を振り返った時、この交換留学は絶対に忘れられない思い出になると確信しています。本当にありがとうございました。

## 5 記録写真



ブラジル初日に撮った写真です。ホストファミリーと緊張しながら言葉を交わした一日目でした。30時間の長フライトのあとだったので、空港から家までの車で2,3時間ほどの道のりをぐったりと過ごしたのを覚えています。



ブラジルに来る前は全く知らなかったブルーノ・マーズでしたが、今となっては一番好きな歌手と言えるほどのファンになりました。洋楽を聞く趣味もなかったのに、やっぱり生の声というのは凄いなと感じました。



クリスマスと年末に食べた超巨大なお肉です。ただ大きいだけではなく、身はジューシーなれども硬すぎず、塩味と肉本来の旨味がいい塩梅になっているシュラスコ（ブラジル式BBQ）のお肉です。後ろでワンちゃんが欲しそうにこちらを見ているのが可愛いですね。



オリンダというブラジル北部の街のカーニバルに交換留学生たちで参加した時の写真です。音楽に合わせて即興で踊ったり、リズムに合わせて身体を揺らしたりなんてしたことがありませんでしたが、友達同士のノリさえあれば意外といけました。私は右下で大口を開けています。





アマゾン川への旅行の時の写真です。夕日がきれいだったのと、丁度大きな橋を船で潜るところだったので日本人の友達と写真を撮りました。次の日に泳いだりしました。彼は福井出身ではないため、この交換留学体験がなければ同じ日本にいても出会わなかったと思います。



実は初めの方は学校の友達とはあまり馴染めませんでした。一部の気を遣ってくれている人以外は話すこともありませんでしたが、それは私の言語能力の問題でした。私がほとんどマスターしたころ、学年のほぼ全員と友達になって、このように外食することもパーティーを開くこともしばしばありました。